



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No15

令和5.11.6

四国中央市立
小富士小学校

文化の日



11月3日(木)は「文化の日」でした。「自由と平和を愛し、文化を進める」ことを趣旨とした日として1948年に制定されました。11月3日は日本国憲法の公布された日であり、日本国憲法が平和と文化を重視していることから「文化の日」と定められました。また、この日は「マンガの日」でもあります。「日本の文化と言えば」の問いに「漫画」と答える外国人も多いように、漫画は日本の文化として認知されています。漫画

を文化としてより発展させたい思いで「文化の日」に「マンガの日」が日本漫画協会等によって制定されました。ちょうど11月3日は手塚治虫さんの誕生日なので、意図的でしょうか。実は、この日は明治天皇の誕生日であることから「明治の日」に改称しようとする動きがあるようで、日本が近代化を果たしたことを祝いたいのだそうです。確かに日本は明治維新により封建社会から資本主義社会へと歩み始め、明治は日本の近代化の礎を築いた重要な時代です。明治4年には、いわゆる身分解放令が發布され、平等な世の中を作ろうとしました。しかし、明治政府は新たな身分秩序を作り、真の差別解消のための取組を何もしなかったため、身分による差別は残され、平等な社会の実現は失敗しました。解放令發布から50年経った1922年に全国水平社が創立されました。去年は、全国水平社創立100周年でした。差別と闘い、人権獲得の歴史を積み重ねた100年を称えたいと思います。しかし、100周年を素直に喜んでよいのでしょうか。100周年を迎えたということは、100年掛かっても差別が無くなっていないことを意味します。新たな差別も起こっています。それでも100周年を迎える意義を「現代の社会に存在する様々な差別や人権の諸問題の解決に挑戦していく新たな連帯の出発点とする」としています。この水平な世の中への思いを私たちは受けて、人権についてももっともっと深く考え、差別や人権の諸問題の解決に挑戦していく仲間になりましょう。民主化の道半ばに「明治の日」はいかがなものかと思ひ、私は、11月3日を入権文化を花開かせる「文化の日」として大切にしたいと思ひます。

11月11日～12月10日は「差別をなくする強調月間」です。先日10月29日(日)は、人権・同和教育参観日でした。保護者の皆様、授業参観と講演会への参加、ありがとうございました。人権についてしっかり考える一日になりました。11月26日(日)は四国中央市「人権のつどい」がユースホールで開催されます。講演会が予定されており、人権作品も展示されていますので、ぜひ寄ってみてください。11月は子どもたちと一緒に人権について深く学ぶ月間にしたいですね。



ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>